

モニタリングレポート(平成28年度)

施設名	AGF鈴鹿陸上競技場(石垣池公園陸上競技場)				
施設所在地	鈴鹿市桜島町七丁目1番地の3				
指定管理者名	特定非営利活動法人 鈴鹿市体育協会				
評価担当課	スポーツ課	問合せ先	059-382-9029		
施設の運営状況	(確認方法)日報, 月次報告書, 年度事業報告書				
開館日数	357日	総利用者数	50,498人	1日当たりの利用者数	141人
開館時間	・4月1日から9月30日までは午前9時から日没まで ・10月1日から翌年3月31日までは午前9時から午後5時まで				
事業収支	(確認方法)年度事業報告書				
項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)		
利用料金	2,000,000	2,120,900	120,900		
事業収入	0	0	0		
指定管理料	21,637,000	21,637,000	0		
自主事業収入	699,000	810,000	111,000		
雑収入	2,000	0	▲ 2,000		
収入計	24,338,000	24,567,900	229,900		
人件費	11,136,000	10,640,999	▲ 495,001		
旅費交通費	6,000	0	▲ 6,000		
通信運搬費	47,000	45,409	▲ 1,591		
受信料	45,000	59,509	14,509		
消耗品費	129,000	237,324	108,324		
修繕費	150,000	296,628	146,628		
印刷製本費	50,000	61,724	11,724		
燃料費	0	0	0		
光熱水費	1,500,000	1,431,022	▲ 68,978		
賃借料	343,000	324,440	▲ 18,560		
手数料	13,000	11,800	▲ 1,200		
保険料	120,000	127,140	7,140		
委託費	5,266,000	5,412,042	146,042		
諸謝金	10,000	0	▲ 10,000		
租税公課	1,263,000	1,256,000	▲ 7,000		
本部管理費	3,069,000	3,203,165	134,165		
支出計	23,147,000	23,107,202	▲ 39,798		
収支	1,191,000	1,460,698	269,698		

評価項目	確認方法	評価	所見
業務の履行確認 (計画書や仕様書の内容を満たしているかを○×で評価してください。)	月次報告書	○	すべて適切に履行されている。
	現地調査	○	すべて適切に履行されている。
	定例報告会	○	すべて適切に履行されている。
サービスの質 (「優良・良・普通・要改善」の4段階で評価してください。)	アンケート	優良	H28年10月から11月にかけて実施。各施設とも満足度は高くなっている。
	現地調査	優良	衛生面や景観面等を常に配慮し、維持管理されている。
業務遂行能力 (各種財務指標等を参考に同業他社との比較も含めて○×で評価してください。)	貸借対照表	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
	損益計算書	○	利益を求める団体ではないことを考慮すると問題なし。
	年度事業報告書 (事業収支表)	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
	その他財務諸表等	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
年度業務報告書の内容評価			(適)・不適
業務の履行、サービスの質、業務遂行能力、施設管理運営能力、いずれの点においても優秀な内容であり、指定管理者としての独自事業(転倒防止対策等)も非常に効果的である。			
定例報告会の頻度と内容の評価			(適)・不適
月次報告書の提出及び2ヶ月に一度報告会を開催し、報告書に関する質疑応答や課題の共有等を行った。定例報告会において、自主的な改善案の提案や現状抱えている課題について情報共有を行うなど積極的な姿勢が窺える。			
緊急時の対応評価			(適)・不適
大規模災害等の緊急事態は発生しなかったが、マニュアルを整備し、定期的な訓練を実施しており、緊急時への対応準備は整っている。また、台風の接近時は、迅速に施設利用者の安全確保を優先するなど、円滑に対応できている。加えて、指定管理者自ら、大規模災害発生時の初動体制や指定管理者としての責務について、市へ提案や協議依頼を行うなど、非常に積極的に取組んでいる。			
指定管理者の総括評価			(適)・不適
業務の履行、サービスの質、業務遂行能力に問題はなく、自主的に各施設の課題把握に励み、課題改善のための様々な方策を提案・実行する意識の高さで、継続して利用者の安全面への配慮や利便性向上に日々努めている。			
施設の課題と対策			
平成29年度に日本陸上競技連盟の第3種公認更新時期を控えており、公認継続に当たり競技トラックの改修や備品の更新が必要条件となってくるため、指定管理者との積極的な情報共有を図りながら、計画的な施設改修を実施していく必要がある。			
施設の方向性			
施設へのニーズは非常に高く、本市のスポーツ振興を図る上で必要不可欠な施設であるため、今後も施設を維持していく方針である。また、平成33年度に開催予定の第76回国民体育大会サッカー競技の練習会場となるなど、陸上競技に限らずサッカーなどの各種大会に対応できる競技場としての位置付けを強めていくことが望まれる。			